

川辺郡寺本村前田宗五郎家文書概要

- 1: 文書群番号 084008
- 2: 文書群名 川辺郡寺本村前田宗五郎家文書
- 3: 出所 前田宗五郎家
- 4: 家業・役職等 近世：未詳
近代：寺本村戸長
- 5: 地名 摂津国川辺郡寺本村／兵庫県川辺郡稲野村寺本／伊丹市寺本1丁目ほか
- 6: 行政区分 武蔵国忍藩阿部氏領／幕府領／兵庫県第13区／昆陽組戸長役場／稲野村／伊丹市
- 7: 歴史 前田家は代々川辺郡寺本村に居住し、伊丹市域の村々や大名・旗本に対する金銀貸付を家業とした。尼崎藩掛屋をつとめた中在家町泉屋（本俣）利兵衛家をはじめとして、伊丹・尼崎・大坂の金融資本との間に、大名貸など資金融通の面で連携があった。明治初年に寺本村の戸長をつとめ、10年代には大坂東区釣鐘町で炭・酒等の小売商を営む。のち川西市加茂の親戚宅に転居。
- 8: 伝来 出所の所蔵を離れた当文書群を、昭和59年(1984)10月に史料館が古書籍商より購入。平成14年(2002)3月に整理・目録作成を完了した。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 740点(目録件数656件)
- 11: 年代 宝暦6年(1756)～昭和24年(1949)
- 12: 構造と内容 本文書群は、①近世前田家の金融業関係文書が多く、さらに②明治期の大阪での商業経営および③前田家に関するもの、若干ではあるが④寺本村村政に関するものが含まれる。①は伊丹市域の村々をはじめ尼崎藩・岸和田藩などの大名・旗本に対する金銀貸付の証書類、②は明治10年代の大阪市内での炭・酒小売業経営および売掛代金未収の出入りに関する内容であり、③は別家に対する経済的援助についての文書を数点含む。④は明治初年に前田氏が戸長職にあった頃の村政関係文書。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 松迫寿代